



Toyama New Industry Organization

イノベーション推進センター

産学官の連携とイノベーションの推進による
富山ならではの新産業の育成・創出

5. 産学官連携の推進

成長産業分野への取組み

「グリーン(再生可能エネルギー、資源循環等)」、「モビリティ(次世代自動車等)」、「デジタル技術基盤(ロボット等)」の成長産業分野への県内ものづくり関連企業の取組みを進めるため、技術セミナー、少人数での研修や先進地視察等の研究会活動で最新の情報提供や情報交換の場を提供し、ネットワーク形成を図ります。

サーキュラーエコノミーの推進

県内の資源循環・循環配慮型ものづくりを支援するため、技術相談・マッチング・施策案内にワンストップで対応します。最新事例や制度動向を共有するセミナー・研究会・異業種連携カンファレンス等を開催するとともに、補助金・制度情報も紹介します。



企業におけるデジタル化の推進

IoT等、デジタル技術の初期導入に関する相談窓口を設け、総合的な対応を行います。DX総合アドバイザーが企業での出前講座などを通して、県内企業のデジタル化推進のための課題解決に向けた提案から実証試験までを伴走支援します。

アルミ産業成長力強化戦略の推進

アルミ産業の振興に向けて、アルミのグリーン化に関する産学官連携研究開発への支援や研究会活動、県内外学生のインターンシップ等の人材育成を行っています。

ものづくり企業のバイオ・医薬分野参入の推進

県内ものづくり企業のバイオ・医薬分野への参入を推進するため、マッチングイベントやセミナーの実施、新製品・新技術の研究開発を支援します。



6. 新産業・新技術の創出支援

産学官オープンイノベーションの推進

グリーン、モビリティ、デジタル技術基盤等の成長産業分野において、産学官グループから研究開発テーマを公募し、新商品・新技術創出に結びつく研究開発を支援します。

[重点支援分野]

再生可能エネルギー、水素・アンモニア、蓄電池、カーボンリサイクル・マテリアル、資源循環、次世代自動車

| | 複数企業枠 | 単独企業枠 | サークラーエコノミー推進枠 |
|-------|-----------|---------|---------------|
| 助成率 | 2/3* | | |
| 助成期間 | 最長3箇年度 | 最長2箇年度 | |
| 助成限度額 | 1,000万円/年 | 500万円/年 | |

*ただし、県内の大学・公設試等との共同研究開発経費は10/10。

[成長産業分野全体]

| | | |
|-------|---------|--|
| 助成率 | 2/3* | |
| 助成期間 | 最長2箇年度 | |
| 助成限度額 | 300万円/年 | |

*ただし、県内の大学・公設試等との共同研究開発経費は10/10。

ものづくり技術開発促進支援 (中小企業成長応援ファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)の新商品・新技術の研究開発等による競争力強化の取組みに対し助成します。

| | |
|-------|--------|
| 助成率 | 1/2 |
| 助成期間 | 最長2箇年度 |
| 助成限度額 | 300万円 |

*ただし、工具器具・備品費の助成額は100万円以内。

成長型中小企業等研究開発支援

特定ものづくり基盤技術の高度化に資する研究開発について、中小企業等及び地域の大学等との研究機関等が連携して行う取り組みを支援する事業*に関し事業管理機関として支援します。

*本事業は経済産業省が実施する事業です。

| | |
|-------|---|
| 助成率 | (1)中小企業等:2/3以内 (2)大学・公設試等:定額 |
| 助成期間 | 2年度又は3年度 |
| 助成限度額 | 通常枠:単年度あたり4,500万円以下 2年間合計で7,500万円以下 3年間合計で9,750万円以下 |

7. 富山県ものづくり研究開発センターの運営

富山県ものづくり研究開発センターの概要

センターは富山県産業技術研究開発センターと新世紀産業機構が共同で運営しています。

10m法の電波暗室、最先端設備等設置スペースであるデジタルものづくりラボ、高機能素材ラボ、CNF製品実証試作ラボ、製品機能・環境負荷評価ラボ、オープンイノベーション・ハブと、研究開発スペースである開発支援棟で構成されています。

最先端設備の開放

- 企業や大学に広く開放します。
- 最先端設備は利用者自らが操作することができます。また基本操作や高度に利用するための技術講習を行います。

研究開発プロジェクトの推進

- 開発支援棟の企業スペースやプロジェクトスペースを活用した研究開発を推進します。
- 異分野融合による技術シーズを創出し、研究開発プロジェクトに繋げる研究会を実施します。

実践的なものづくり人材の育成

- 実践的で高度な知識を有する人材育成のため、長期インターンシップの受け入れや、人材育成講習会を実施します。
- 共同研究方式による企業の若手技術者の育成に取り組みます。

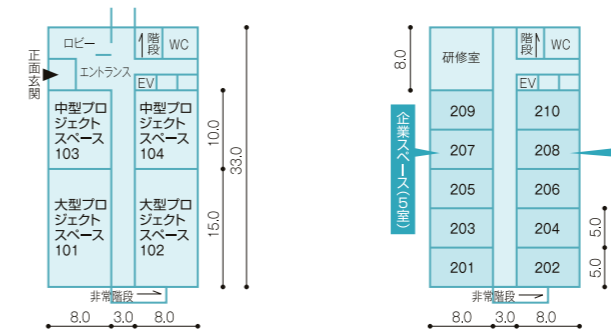
異分野・異業種交流の促進

- 異業種交流セミナーや研究会を開催します。
- 知的財産センターとの連携により、個別企業の知的財産の一層の活用を図ります。

開発支援棟の研究スペース

カードキーシステムにより入居者は24時間利用できます。

| | [1階] プロジェクトスペース | | [2階] 企業スペース | |
|------|-----------------|-------------|-------------|------------|
| 使用料金 | 80㎡(2室) | 月額 184,300円 | 40㎡(10室) | 月額 92,100円 |
| | 120㎡(2室) | 月額 276,500円 | | |

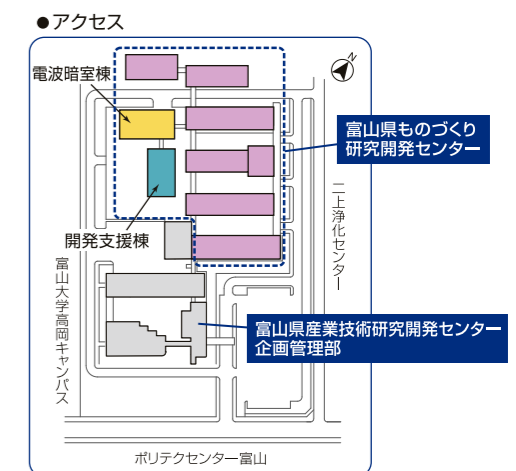


交通アクセス

- 車の場合**
 - 新高岡駅から約20分、高岡駅から約15分
 - 能越自動車道 高岡北インターから約10分
- バスの場合**
 - 新高岡駅前発 加越能バス「城光寺運動公園(富山高岡)」、乗車約30分「富山高岡キャンパス」下車 徒歩3分
 - 高岡駅前発 加越能バス「城光寺運動公園(富山高岡)」、乗車約15分「富山高岡キャンパス」下車 徒歩3分
- 路面電車の場合**
 - 高岡駅発 万葉線、乗車約20分「米島口」下車 徒歩約20分



電波暗室(10m法、小型)／外部からの電磁波の影響を受けず、また、外部機器に影響を与えない電氣的に隔離された部屋。



高岡市二上町122
(富山県産業技術研究開発センター敷地内)
TEL.0766-50-8280 FAX.0766-50-8283

CASE 2

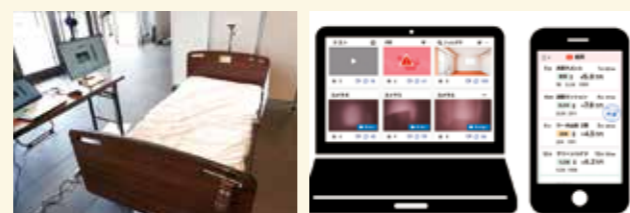
株式会社シキノハイテック 事業推進室室長 石川 晃氏 ▶P.6

ヘルスケア産業育成創出の推進
(現ものづくり企業のバイオ・医薬分野参入の推進)

高齢者の見守りシステムを開発 「事業の柱の一つに育てたい!」

海外の取引先に触発されて、介護施設等のベッド周りで高齢者の動きや体温、心拍数、呼吸数などを検知する機器の開発に乗り出した同社。令和2年度は「ヘルスケア産業育成創出事業」の支援を受けて、取引先の試作機の性能を検証しながら、何をセンシングするかの確認を実施。翌年度からの2年間は再び「ヘルスケア産業育成創出事業」の採択を受けて、ミリ波レーダーを応用して対象者の動きや心拍数、呼吸数を検知するシステムの開発に臨んだ。

「体温の検知では若干の誤差が出るため継続研究とし、当社独自の新しい「ミリ波レーダー+カメラ+体温」見守りシステムを開発しました。圧力センサを用いる従来型よりも迅速かつ高精度で、また、画像による解析機能を追加したことで、介護の現場からは喜ばれています」とは開発に携った石川晃氏。令和7年4月から市場投入され、同社の新事業として期待されている。



▲同社の見守りシステム「C-エイド」の全景(写真左)。センサはスタンドに取り付けて頭上(画像の奥側)にセットし、管理室やモバイル(写真右)に状況を表示する。



▲富山駅南北自由通路にて開催された「とやま介護テクノロジー展示会2025」(6月7日)に出席して「C-エイド」のPRに努めた際の様子。



◀シキノハイテックの見守りシステム「C-エイド」開発に携った事業推進室・室長の石川晃氏。